

こ だ ま 文 庫 か ら の ご 案 内 ！

開館は毎週月曜日から金曜日（祝日は除く）の、9時から17時まで
本のリクエストがありましたら、お気軽にお申し込みください。

新 刊 情 報 （2023年2月）					
グッドナイト	折原 一	みみそぎ	三津田信三	脳は若返る	茂木健一郎
たりの生活	群 ようこ	タイム・オブ・デス、 デート・オブ・パース	窪 美澄	タスキ飯-五輪-	額賀 滯
バッド・コップ ・スクワッド	木内 一裕	不幸で不安な80代 健康で幸せな80代	和田 秀樹	聞く技術 聞いてもらう技術	東畑 開人
あの日々	高木 國雄	不調を解消したいなら、 まず足を整えなさい	笠原 巖	ものの見方が 180度変わる古事記	古高 裕記
和食屋がこっそり教える ずるいほどに旨い 鶏むねおかず	笠原 将弘	「一万円選書」で つながる架け橋	岩田 徹	ササっとつくれて、 ちゃんとおいしい！ ひとり分おかず160	NHK出版
65歳になったら書いておく エンディング・ラブレター	市川 弘美	「幸せな90歳」を 迎えるために 家族に知って欲しいこと	諸岡 真道	シュークリームと ひじき	牧 はる子

今月の移動図書館は下記のとおり巡回いたします。みなさん、お誘いあわせのう
えお気軽にご利用ください。

2月の本宮小学校と三里小学校はお休みします

2月10日（金曜日）

福寿集会所	10：30 ～ 11：20	平集会所	13：10 ～ 13：40
大居集会所	11：30 ～ 11：50	請川郵便局前	14：00 ～ 14：30
		皆地ふれあいの里	15：00 ～ 15：30

～貸出ランキング～

田辺市立図書館「たなべるレター令和5年1月」掲載
過去2ヶ月の貸出ベスト5

1位	『おいしいごはんが 食べられますように』	高瀬 隼子
2位	『汝、星のごとく』	凧良 ゆう
2位	『透明な螺旋』	東野 圭吾
2位	『魔力の胎動』	東野 圭吾

令和4年12月末の人口等

地域別	男	女	計	人口割合	世帯数
三 里	414	475	889	36.6%	503
本 宮	232	243	475	19.5%	262
四村川	253	276	529	21.8%	306
請 川	246	290	536	22.1%	348
計	1,145	1,284	2,429	100.0%	1,419

本宮幹部交番の固定電話廃止

新宮警察署では事件事故の初動捜査対応を迅速化する目的とし、令和5年3月末を
似て本宮幹部交番の加入電話を廃止し、令和5年4月からは、新宮警察署代表電話に
統一することになります。

交番・駐在所の警察官は、パトロールや事件事故などで外出していた場合電話を受
けることが出来ないこともあり対応に遅れが生じる可能性がありましたが、代表電話
に統一することによって、無線などで一斉に指令し迅速に現場に向かうことができま
す。

令和5年4月からは、事件事故等で至急警察に連絡される方は『110番』、急ぎ
でない場合は新宮警察署代表（電話：0735-21-0110）におかけ下さい。

令和5年
2月号

本宮公民館報

発行：本宮公民館（本宮教育事務所内）
住所：和歌山県田辺市本宮町本宮 2 1 9
電話：0735-42-1164 FAX：0735-42-1194
館長 小守 充 ・ 主事 垣内 保

文化財を守る意識の高揚！防火訓練実施

1月26日（木）の文化財防火デーを控え、熊野本宮大社で1月23日（月）に第6
8回文化財防火訓練が開催されました。

午後3時に宝物殿付近の山林から出火、本殿東側の山林に燃え移る恐れがあるとの想
定で訓練が始まりました。

当日は、大社自衛消防隊・田辺消防本部本宮分署・消防団本宮支団が参加し、消火器
や放水銃・消火栓を使った消化活動のほか、参拝者の避難誘導等を行いました。

消化活動終了後、本宮分署井戸署長からの講評と九鬼宮司のあいさつが行われ「地域
の皆さんと協力しながら文化財を守っていききたい」と述べられました。



一斉放水の様子

冬休み子どもの居場所づくり無事終了

本宮公民館では、「冬休み子どもの居場所づくり事業」を12月26日から1月6日
までの期間中6日間開きました。短い期間でしたが2校の児童達は、宿題をしたり、読
書・工作をするなどして楽しく過ごしていました。下の写真は紙コップを使ってけん玉
を作っている様子です。紙コップに絵を書いたり、色を塗ったりして、自分なりのけん
玉作りを黙々と一生懸命にしていました。

児童達は期間中楽しく過ごしたようで「春休みの子どもの居場所も参加する！」と元
気に話をしていました。



けん玉作りをしている様子



集合写真

三里小学校・本宮小学校ジュニア語り部交流

1 1月18日（金）三里小学校ジュニア語り部が、発心門を出発し、王子社や名所を案内しながら三軒茶屋まで熊野古道の語り部を務めました。

今回は、本宮小学校の先生や児童、田辺市教育委員会の方々が参加されました。

児童は、熊野本宮語り部の会所属松本茂子さんに指導を仰ぎ本番を迎えました。

本宮小学校の児童からは、「丁寧な説明で話が分かりやすかった」と好評でした。

1 2月5日（月）本宮小学校ジュニア語り部が、湯の峰温泉を出発し、大日越えコースで王子社や名所を案内しながら熊野本宮大社旧社地まで熊野古道の語り部を務めました。

今回は、三里小学校の先生や児童・和歌山大学・熊野古道女子部・日本ユニシス・田辺市教育委員会の方々が参加されました。

児童は、熊野本宮語り部の会所属梅崎 奈美江さんに指導を仰ぎ本番を迎えました。

三里小学校の児童からは、「丁寧な説明で話が分かりやすかった」「語り部の説明を聞き、このコースも見どころが沢山あった」と好評でした。

両校とも晴天に恵まれ秋の暖かな日差しの中で行われ、語り部の児童達は、大きな声で元気がよく地元の史跡名所を案内し立派に語り部を務めていました。



三里小（発心門）
語り部の様子



本宮小（湯の峰）
語り部の様子

熊野古道を歩きやすく！学社融合の取組み！

1 2月21日（水）本宮中学校の全学年の生徒と地域団体が協力して恒例の「熊野古道環境保全活動」として熊野古道中辺路ルート之三軒茶屋近くで『道普請』を実施しました。

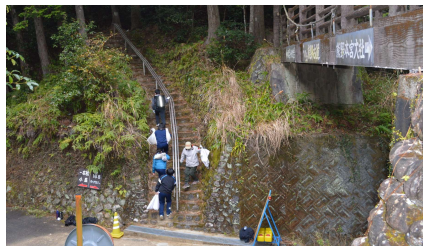
この活動は、雨などにより流失した土を補充・補修することにより、本宮へ訪れた方々が歩きやすくなるように整備するものです。熊野古道が世界遺産として登録される前から三里中学校が取り組んでいた活動を学校統合後の本宮中学校が引き継ぎ、毎年12月に熊野本宮語り部の会と本宮プロバスクラブの皆さんとの共同作業として開催しています。

作業前に、熊野本宮語り部の会松本純一会長から「古道を歩く方からとても歩きやすい道と言われ、沢山人から感謝されています。本日は一生懸命頑張ってください。」と挨拶されました。その後、和歌山県世界遺産センターの金井直大先生から作業の説明を受けました。

用意した1.5トンの土を土嚢袋に入れて元気よく中学生が休憩もせず軽い足取りで次から次へと運び入れ、補修作業に精を出していました。

学校と地域住民が一体となり、地元の財産である世界遺産熊野古道を保全し守り続けることで、皆さんのおもてなしの気持ちが訪れる方に伝わっています。

熊野の森の番人としてこの活動を後世へと引き継ぎ続けていただきたいと思います。



補修場所に土を運んでいる様子



土を補充している作業の様子



参加者全員で集合写真

令和5年度 市民税・県民税の申告について

市民税・県民税の申告は、私たちのまちをより暮らしやすくするための大切な手続きです。申告期間は、2月16日（木）～3月15日（水）（土、日、祝を除く。）です。また、下記の日程で休日申告受付を開催いたします。なお、マイナンバー（個人番号）の記載と、番号確認及び本人確認書類が必要ですのでご注意ください。

■申告時に必要なもの

- ①申告書（自宅に送付されていない方は、申告会場に用意してあります。）
- ②源泉徴収票（無い場合は、給与明細など収入の内容がわかるもの）
- ③生命保険料・地震保険料の控除証明書（保険会社から発行された証明書）
- ④社会保険料の確認書・領収書等（国民年金は日本年金機構が発行した証明書等）
- ⑤医療費控除の明細書（医療費通知により、明細の記載を省略する場合には、医療費通知の原本の添付が必要です。）
- ⑥配偶者特別控除を受けようとする人は、配偶者の収入のわかるもの
- ⑦営業などの事業所得や不動産所得の申告をする人は、収入・経費の明細書
- ⑧マイナンバーと本人確認ができる書類

	番号確認書類	本人確認書類
マイナンバーカード（個人番号カード）がある場合	○マイナンバーカード（裏面）	○マイナンバーカード（表面）
マイナンバーカード（個人番号カード）がない場合	下記のうち1点 ○通知カード ○住民票の写し（マイナンバーの記載があるもの） ○住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載があるもの）	顔写真付のものは下記のうち1点 ○運転免許証、パスポート等 顔写真付でないものは下記のうち2点 ○公的医療保険の被保険者証、年金手帳、国税・地方税・社会保険料・公共料金の領収書等

⑨代理で申告される場合は、納税義務者本人のマイナンバーが確認できる書類（写しでも可）・代理人の本人確認書類・委任状が必要となります。

【休日受付日程】

受付日	受付時間	受付会場
2月18日（土）	午前9時00分 ～午後3時00分	本宮行政局(住民ロビー)

※申告にお越しになる際はマスクの着用をお願いいたします。

【お問合せ先】 本宮行政局住民福祉課住民係 TEL0735-42-0004

「古代の船が語る未来」冒険家 石川仁さん講演会

1月7日（土）世界遺産熊野本宮館において「古代の船が語る未来」と題した冒険家の石川仁さんによる講演会が本宮分館主催で開催されました。

石川さんは、サハラ砂漠をラクダと横断したり、南米ジャングルでの丸木舟川下りや外洋での葦船航海を体験した方として有名で、10年ほど前から本宮で葦船を作り熊野川下り行っています。

当日は、24名の参加者に葦船航海での経験や古代の人々は葦船で航海したのであろうとする学説を立証するため、次の葦船による太平洋横断計画についてお話しされました。

最後に冒険を通じて体験で学んだことは「旅をする・学ぶ・伝える」の3つを要素とし、沢山の生き物で成り立つ地球のバランスを壊さない感覚を未来へ伝えたいと語られました。

閉会後は、希望者限定としてサハラ砂漠の横断体験談も行われ、参加者の皆様は興味深く聞き入っていました。



講演会の様子